



IP Phone レポートの生成

IP 電話には、スイッチとの物理関係、および Cisco CallManager との論理関係があります。次の各 IP Phone レポートでは、この両方の関係が組み合わせて示されるため、IP 電話の問題を簡単に追跡および解決することができます。

- **IP Phones and Applications** レポート：ネットワーク内の IP 電話の現在のステータスを反映した詳細な IP 電話データが示されます。
- **IP Status Change** レポート：過去 1 ～ 7 日間にステータス変更のあった IP 電話のデータが示されます。

次の各項では、IP Phone レポートの使用方法を説明します。

- [IP Phones and Applications](#) レポートの使用方法 (P.12-2)
- [IP Phone Status Changes](#) レポートの使用方法 (P.12-16)



(注)

レポートのデータをリフレッシュするには、レポートを閉じてからもう一度生成します。

IP Phones and Applications レポートの使用法

IP Phones and Applications レポートには、ネットワーク内の IP 電話の現在のステータスを反映した詳細な IP 電話データが示されます。これらのレポートを使用すると、少数の電話の検索、特定の電話のセット（スイッチに接続された電話、SRST モードの電話、CTI アプリケーションの電話など）の表示、またはすべての電話および回線の表示を実行できます。

- **Search** : 少数の IP 電話または 1 つの IP 電話の情報を表示する場合は、**Search** を使用します。Search では、内線番号の全体または一部、IP アドレス、または MAC アドレスを使用して電話を検索することができます。P.12-3 の「[IP 電話の検索](#)」を参照してください。
- **Inventory Analysis** : 指定した基準を満たす IP 電話を表示する場合は、**Inventory Analysis** レポートを使用します。たとえば、特定の Cisco CallManager に登録された IP 電話や、特定のスイッチに接続されていない IP 電話などを表示できます。P.12-5 の「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」および P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。
- **All IP Phones/Lines** : Operations Manager で監視しているすべての IP 電話のデータを表示する場合は、**All IP Phones/Lines** レポートを使用します。P.12-7 の「[All IP Phones/Lines レポートの生成](#)」および P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。
- **SRST IP Phones** : Survivable Remote Site Telephony (SRST) 専用に設定された IP 電話のデータを表示する場合は、**SRST IP Phones** レポートを使用します。P.12-7 の「[SRST IP Phones レポートの生成](#)」および P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。



(注) SRST 用に設定された IP 電話は、All IP Phones/Lines レポートにも含まれ、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。

- **IP Communicators** : IP Communicator のデータを表示する場合は、**IP Communicators** レポートを使用します。P.12-8 の「[IP Communicators レポートの生成](#)」を参照してください。



(注) IP Communicator は、All IP Phones/Lines レポートおよび All CTI Applications レポートにも含まれ、また、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。

- **All CTI Applications** : CTI アプリケーションのデータを表示する場合は、**All CTI Applications** レポートを使用します。P.12-8 の「[All CTI Applications レポートの生成](#)」を参照してください。

IP 電話の Web インターフェイスがアクセス可能になっている場合は、次のいずれかのハイパーリンクをクリックすることにより、ほとんどの IP Phone レポートから Web インターフェイスを開くことができます。

- Extension number
- MAC address
- IP address

詳細については、P.12-14 の「[IP 電話の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

IP 電話の検索

ネットワーク内の 1 つまたは少数の IP 電話を検索するには、Search を使用します。Search では、一度に 1 つの電話の情報が表示されます。複数の電話が検索された場合は、ページを前後に移動して各電話の情報を表示することができます。内線番号の全部または一部、IP アドレス、または MAC アドレスを使用して電話を検索できます。

Cisco CallManager に登録されているすべての電話やスイッチに接続されているすべての電話などのように、多数の電話を検索する場合は、Inventory Analysis レポートを使用します。P.12-5 の「Inventory Analysis レポートの生成」を参照してください。

ステップ 1 Reports > IP Phones and Applications > Search を選択します。Find IP Phones ページが表示されます。

ステップ 2 Find IP Phones Where ペインで、次の操作を実行します。

- a. 次のいずれかを選択します。
 - Extension number
 - IP address
 - MAC address
- b. 次のいずれかを選択します。
 - is exactly
 - begins with
 - contains
 - ends with
- c. 値を入力します。

ステップ 3 View をクリックします。IP Phone Details ダイアログボックスが表示され、次の表の情報が示されます。

行	説明
Extension	IP 電話の内線番号。たとえば 4000。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の Web インターフェイスが開きます (P.12-14 の「IP 電話の Web インターフェイス」を参照)。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。たとえば 10.76.38.65。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の詳細情報が表示されます (P.12-2 の「IP Phones and Applications レポートの使用法」を参照)。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。たとえば 003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の Web インターフェイスが開きます (P.12-2 の「IP Phones and Applications レポートの使用法」を参照)。
CCM Address	IP 電話が登録されている Cisco CallManager (CCM) のアドレス。たとえば 10.76.38.70。
Switch Address	IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。たとえば 10.76.29.162。
Switch Name	IP 電話が接続されているスイッチ。
Switch Port	IP 電話が接続されているスイッチ ポート。たとえば Fa0/12。
Port Status	IP 電話が接続されているスイッチ ポートのステータス。up または down。

行	説明
IP Phone Status	IP 電話の Cisco CallManager への登録ステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • yes : IP 電話は Cisco CallManager に登録されています。 • no : IP 電話は Cisco CallManager に登録されていません。
IP Phone Model	Cisco IP Phone のモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。
Protocol	電話が Cisco CallManager との通信に使用するプロトコル。  (注) SCCP 電話だけが検出されます。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。
VLAN Name	スイッチ内の VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。
VLAN ID	IP 電話が接続されているスイッチ内の VLAN の ID。たとえば 100。
SRST Router	SRST 用に電話で使用しているルータの IP アドレス。
SRST Mode	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • yes : 電話は SRST モードです。 • no : 電話は SRST モードではありません。 • ? : 電話は SRST モードであると思われます。 • - (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。

- 新しいブラウザ ウィンドウに印刷に適した形式で情報を表示するには、**Print** をクリックします。情報の印刷には、ブラウザの印刷機能を使用します。
- 検索結果に複数の電話が含まれる場合は、**Next** または **Prev** をクリックしてそれぞれを表示します。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- [IP Phone レポートのトラブルシューティングのヒント \(P.12-15\)](#)

IP Phone レポートの生成

次の事項について説明します。

- [Inventory Analysis レポートの生成 \(P.12-5\)](#)
- [All IP Phones/Lines レポートの生成 \(P.12-7\)](#)
- [SRST IP Phones レポートの生成 \(P.12-7\)](#)
- [IP Communicators レポートの生成 \(P.12-8\)](#)
- [All CTI Applications レポートの生成 \(P.12-8\)](#)

Inventory Analysis レポートの生成

ネットワーク内の IP 電話を検索してレポートに表示するには、Inventory Analysis を使用します。

始める前に

Inventory Analysis では、次のように電話が検索されます。





- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用：1つのフィールドに複数の値を入力した場合は、入力したいいずれかの値に一致する電話が検索されます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用：複数のフィールドに値を入力した場合は、各フィールドで少なくとも1つの値に一致する電話が検索されます。

たとえば、IP Phone Model フィールドに2つの電話モデル（7910 と 7935 など）を入力した場合、結果の Inventory Analysis レポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。これに加えて1つの VLAN ID と1つのスイッチを入力すると、これらすべての基準を満たす電話が検索されます。結果のレポートには、該当のスイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話のみが含まれます。

ステップ 1 Reports > IP Phones and Applications > Inventory Analysis を選択します。Find IP Phones ページが表示されます。

ステップ 2 次の表で説明されている1つ以上のフィールドに値を入力します。

GUI 要素	説明 / 処理
Find IP Phones Where のリストボックスとフィールド	<p>左から右の順に次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> – Extension number – IP Address – MAC Address • 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> – is exactly – begins with – contains – ends with • 値を入力します。
VLAN Name フィールド	VLAN の名前を入力します。
VLAN ID フィールド	VLAN ID を入力します。
IP Phone Status のオプションボタン	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Registered • Unregistered • All：登録された電話と登録解除された電話
SRST のオプションボタン	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SRST：WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。 • Non-SRST：SRST 向けに設定されていない。 • All：SRST および非 SRST。

GUI 要素	説明 / 処理
IP Phone Model フィールド	<p>複数の電話モデルをカンマで区切って入力します。デフォルトで、このフィールドには IP Communicator など、サポートされるすべての電話モデルが含まれます。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話モデルのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Select IP Phone Models リストが表示されます。 2. 必要な IP 電話モデルをリストから選択します(リストから複数の IP 電話モデルを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します)。 3. OK をクリックします。
CCM/CCM Cluster/CME ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco CallManager、Cisco CallManager クラスタ、および Cisco CallManager Express に属している電話が除外されます。 • リストボックス：複数の Cisco CallManager、Cisco CallManager クラスタ、および Cisco CallManager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Select CCM/CCM Cluster/CME ダイアログボックスが表示されます。 2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、Cisco CallManager、Cisco CallManager Cluster、Cisco CallManager Express の中から 1 つ以上を選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に CCM/CCM Cluster/CME リストボックスで選択した項目が表示されます。
Switch ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。 • リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Inventory Analysis Switch Selection ダイアログボックスが表示されます。 2. Switch Selector でグループを展開し、スイッチを選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に Switch リストボックスで選択した項目が表示されます。
SRST Router ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。 • リストボックス：複数のルータをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Inventory Analysis Router Selection ダイアログボックスが表示されます。 2. Router Selector でグループを展開し、ルータを選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に Router リストボックスで選択した項目が表示されます。

ステップ 3 **View** をクリックします。別のウィンドウに **Inventory Analysis** レポートが表示されます。P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。



をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco CallManager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の手順に従います。

- コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。
- PIFServer が停止している場合、CiscoWorks の起動機能を使用します。次の手順に従います。
 1. **Server > Admin > Processes** を選択します。Process Management ページが表示され、表にプロセス名が表示されます。
 2. 表で PIFserver プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして **Start** をクリックします。



(注) また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

All IP Phones/Lines レポートの生成

ステップ 1 **Reports > IP Phones and Applications > All IP Phones/Lines** を選択します。All IP Phones/Lines ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 リストから **IP Phones** を選択して、**View** をクリックします。All IP Phones/Lines レポートが表示されます。このレポートには、P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」で説明されている情報が表示されます。



(注) また、IP Phone Status ペインで **Click to View All Phones** を選択することにより、Monitoring Dashboard タブからも All IP Phones/Lines レポートを生成することができます。

SRST IP Phones レポートの生成

SRST IP Phones レポートには、Survivable Remote Site Telephony (SRST) 用に設定された電話のリストが表示されます。

ステップ 1 **Reports > IP Phones and Applications > SRST IP Phones** を選択します。新しいウィンドウに SRST IP Phones レポートが表示されます。レポートには、SRST 設定の情報のみが表示されます。詳細については、P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。

IP Communicators レポートの生成



(注)

IP Communicator は、All IP Phones/Lines レポートおよび All CTI Applications レポートにも含まれ、また、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。

- ステップ 1** **Reports > IP Phones and Applications > IP Communicators** を選択します。新しいウィンドウに IP Communicators レポートが表示されます。レポートには、IP Communicator の情報のみが表示されません。詳細については、P.12-9 の「[IP Phone レポートについて](#)」を参照してください。

All CTI Applications レポートの生成

All CTI Applications レポートには、Operations Manager が監視する Cisco CallManager に登録された Computer Telephony Interface (CTI) デバイス アプリケーションが表示されます。Cisco CallManager には、次のアプリケーションが CTI デバイスまたは CTI ポートとして登録されます。

- Cisco IP Communicator
- Cisco Personal Assistant
- Cisco Customer Response Applications
- Cisco IP Contact Center
- Cisco Emergency Responder

- ステップ 1** **Reports > IP Phones and Applications > All CTI Applications** を選択します。All CTI Applications Report が表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	CTI アプリケーション (CTI ポート /CTI ルート ポイント) の内線番号。
Application Information	Cisco CallManager で報告される、CTI アプリケーションの定義名。アプリケーションが CTI に登録されていない場合、このフィールドには Not supported と表示されます。
Registered	CTI アプリケーションが Cisco CallManager に登録されているかどうか。Yes または No。
IP Address	<ul style="list-style-type: none"> • CTI アプリケーションの IP アドレス (アプリケーションが CTI ポートの場合) • Cisco CallManager の IP アドレス (アプリケーションが CTI ルート ポイントの場合)
CCM Address	Cisco CallManager のアドレス。
Device Type	デバイスのタイプ。
Device Description	デバイスの説明。

IP Phone レポートについて

表 12-1 に、次のレポートに表示されるデータを示します。

- Inventory Analysis : 指定した基準に一致する電話が含まれます。
- All IP Phones/Lines : IP Communicator や SRST 用に設定された IP 電話など、すべての IP 電話が含まれます。



(注) All IP Phones/Lines レポートをフィルタリングして、表示したい電話のみをレポートに含めることができます。

- SRST IP Phones : SRST 用に設定された電話のみが含まれます。
- IP Communicators : IP Communicator のみが含まれます。

表 12-1 IP Phone レポート

GUI 要素	説明 / 処理
カラム	
Number	行番号。1 から始まります。
Check box	次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Print : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (P.12-11 の「IP Phones and Applications レポートのツール ボタン」を参照)。 • Export to a file : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (P.12-11 の「IP Phones and Applications レポートのツール ボタン」を参照)。 • Launch a test on : レポートの一番下に Launch ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (P.12-14 の「選択した IP 電話のテストの設定」を参照)。
Extn	IP 電話の内線番号。たとえば 4000。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の詳細が表示されます (P.12-14 の「IP 電話の Web インターフェイス」を参照)。
User	Operations Manager に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。P.15-28 の「LDAP の設定」および P.12-14 の「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」を参照してください。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。たとえば 10.76.38.65。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の詳細情報が表示されます (P.12-14 の「IP 電話の Web インターフェイス」を参照)。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。たとえば 003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、IP 電話の詳細が表示されます (P.12-14 の「IP 電話の Web インターフェイス」を参照)。
Model	IP Phone のモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。

表 12-1 IP Phone レポート (続き)






GUI 要素	説明 / 処理
カラム	
Protocol	電話が Cisco CallManager または Cisco CallManager Express との通信に使用するプロトコル。  (注) SCCP 電話だけが検出されます。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。
Regd.	Cisco CallManager または Cisco CallManager Express に対する IP 電話の登録ステータス。IP 電話が登録されている場合は yes と表示され、登録されていない場合は no と表示されます。
CCM	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • CCM : Cisco CallManager • CCE : Cisco CallManager Express
CCM/CME Name	IP 電話が登録されている Cisco CallManager または Cisco CallManager Express の DNS 名。
CCM/CME Address	IP 電話が登録されている Cisco CallManager または Cisco CallManager Express の IP アドレス。
Switch Name	IP 電話が接続されているスイッチの名前。
Switch Address	IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。
Port	IP 電話が使用するスイッチポート。たとえば Fa0/12。
Port Status	IP 電話が使用するポートのステータス。up または down。
VLAN Name	VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。
VLAN ID	IP 電話の VLAN の ID。たとえば 100。
SRST Mode	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • yes : 電話は SRST モードです。 • no : 電話は SRST モードではありません。 • ? : 電話は SRST モードであると思われます。 • — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。
SRST Router	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話が SRST 用に使用しているルータの IP アドレス。 • — (ダッシュ)
ボタン	
Launch	メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択された IP 電話のテストを設定します。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- [IP Phone レポートのトラブルシューティングのヒント \(P.12-15\)](#)

IP Phones and Applications レポートのツール ボタン

IP Phones and Applications レポートの右上隅には、次のレポート ツール ボタンが表示される可能性があります。

	レポートをさらに絞りこむためのフィルタ ダイアログボックスを開きます。P.12-11 の「IP Phones レポートのフィルタリング」を参照してください。
	現在のレポートを PDF ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートし、ローカルシステムに保存します。  (注) すべての電話、選択した電話、またはレコード番号の範囲のデータをエクスポートできます。
	使用しているブラウザからの印刷に適した形式のレポートを新しいウィンドウに表示します。
	状況依存ヘルプを開きます。

IP Phones レポートのフィルタリング

IP Phones レポートに Filter ボタンが表示されているときに、このボタンをクリックします。フィルタ ダイアログボックスが表示されます。







(注) フィルタリングは次のように実行されます。

- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用：1つのフィールドに複数の値を入力した場合、フィルタリングの後のレポートには、入力したいずれかの値に一致する電話が含まれます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用：複数のフィールドに値を入力した場合、フィルタリングの後のレポートには、各フィールドで少なくとも1つの値に一致する電話が含まれます。


たとえば、IP Phone Model フィールドに2つの電話モデル (7910 と 7935 など) を入力した場合、結果のレポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。これに加えて1つの VLAN ID と1つのスイッチを入力すると、フィルタリングにより、該当のスイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話のみがレポートに含まれます。

ステップ 1 次の表で説明されている 1 つ以上のフィールドに値を入力します。

GUI 要素	説明 / 処理
Find IP Phones Where のリストボックスとフィールド	<p>左から右の順に次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> – Extension number – IP Address – MAC Address • 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> – is exactly – begins with – contains – ends with • 値を入力します。
VLAN Name フィールド	VLAN の名前を入力します。
VLAN ID フィールド	VLAN ID を入力します。
IP Phone Status のオプション ボタン	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Registered • Unregistered • All : 登録された電話と登録解除された電話
SRST のオプション ボタン	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SRST : WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。 • Non-SRST : SRST 向けに設定されていない。 • All : SRST および非 SRST。
IP Phone Model フィールド	<p>複数の電話モデルをカンマで区切って入力します。デフォルトで、このフィールドには IP Communicator など、サポートされるすべての電話モデルが含まれます。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話モデルのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Select IP Phone Models リストが表示されます。 2. 必要な IP 電話モデルをリストから選択します (リストから複数の IP 電話モデルを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します)。 3. OK をクリックします。

GUI 要素	説明 / 処理
CCM/CCM Cluster/CME ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco CallManager、Cisco CallManager クラスタ、および Cisco CallManager Express に属している電話が除外されます。 • リストボックス：複数の Cisco CallManager、Cisco CallManager クラスタ、および Cisco CallManager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Select CCM/CCM Cluster/CME ダイアログボックスが表示されます。 2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、Cisco CallManager、Cisco CallManager Cluster、Cisco CallManager Express の中から 1 つ以上のインスタンスを選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に CCM/CCM Cluster/CME リストボックスで選択した項目が表示されます。
Switch ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。 • リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Inventory Analysis Switch Selection ダイアログボックスが表示されます。 2. Switch Selector でグループを展開し、スイッチを選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に Switch リストボックスで選択した項目が表示されます。
SRST Router ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Exclude チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。 • リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  をクリックします。Inventory Analysis Router Selection ダイアログボックスが表示されます。 2. Router Selector でグループを展開し、ルータを選択します。 3. OK をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、Find IP Phones 画面に Router リストボックスで選択した項目が表示されます。

ステップ 2 **OK** をクリックします。フィルタ ダイアログボックスが閉じ、IP Phone レポートがリフレッシュされます。詳細については、P.12-9 の「IP Phone レポートについて」を参照してください。

 をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco CallManager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の手順に従います。

- コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。

- PIFServer が停止している場合、CiscoWorks の起動機能を使用します。次の手順に従います。
 1. **Server > Admin > Processes** を選択します。Process Management ページが表示され、表にプロセス名が示されます。
 2. 表で PIFserver プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして **Start** をクリックします。



(注) また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して、PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

IP 電話の Web インターフェイス

IP Phones and Applications レポートで、使用可能になっている場合に次のハイパーリンクをクリックすることにより、このレポートから IP 電話の Web インターフェイスを開くことができます。

- Extension number
- IP address
- MAC address

別のウィンドウが開き、指定された IP 電話のネットワーク設定の詳細、デバイス、ポート、イーサネット情報などの情報が電話から直接表示されます。

IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得

Operations Manager は、企業の LDAP サーバが次の条件に当てはまる場合に、IP Phone レポートにその LDAP サーバから取得したユーザ名を使用することができます。

- すべてのユーザの情報が設定されている。
- セキュアな LDAP サーバではない (SSL 認証を使用していない)。
- 正しいクレデンシャルと適切な電話番号で Operations Manager に追加されている。この電話番号には、LDAP の設定に応じて、電話番号か MAC アドレスを使用できます。

Operations Manager では、IP 電話の検出が実行されるときにユーザ名がアップデートされます。IP 電話の検出では、企業ディレクトリ内で telephoneNumber アトリビュートを持つユーザが取得され、そのようなユーザのデータと Cisco CallManager の情報が関連付けられます。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- [IP Phone レポートについて \(P.12-9\)](#)
- [IP 電話検出の使用 \(P.15-25\)](#)
- [LDAP の設定 \(P.15-28\)](#)

選択した IP 電話のテストの設定

IP Phone レポートの右下隅に Launch ボタンが表示されている場合は、レポートから IP 電話を選択し、次の使用可能なオプションのいずれかを使用して、その電話にテストを設定することができます。

- SRST Test : 1 つ以上の電話を選択します。P.18-12 の「必要に応じた 1 つの SRST テストの設定」を参照してください。
- Synthetic Test : 1 つの電話のみを選択します。P.9-6 の「模擬テストの作成」を参照してください。
- Phone Status Tests : 1 つ以上の電話を選択します。P.8-4 の「電話ステータス テストの追加 : Create Phone Status Test ページの使用」を参照してください。

IP Phone レポートのトラブルシューティングのヒント

次のヒントについて説明します。

- IP Phones and Applications レポートに N/A または Not Available が表示される (P.12-15)
- Cisco Wireless IP Phone 7920 が監視されない (P.12-15)
- 電話がレポートに表示されない (P.12-15)

IP Phones and Applications レポートに N/A または Not Available が表示される

フィールドに、データではなく N/A や Not Available が表示される場合は、次のいずれかを意味しています。

- そのスイッチまたは Cisco CallManager は Operations Manager によって監視されていません。この状態を修正するには、該当のスイッチまたは Cisco CallManager を Operations Manager に追加します。
- Operations Manager はそのスイッチまたは Cisco CallManager から情報を取得できません。この状態を修正するには、Alerts and Events 画面で該当のスイッチまたは Cisco CallManager のステータスを確認します。該当のスイッチまたは Cisco CallManager が到達不能である場合は、接続を復元します。
- 電話が Cisco Wireless IP Phone 7920 である場合は、論理情報のみが Cisco CallManager から表示されます。スイッチ情報は入手できません。

Cisco Wireless IP Phone 7920 が監視されない

Operations Manager で Cisco Wireless IP Phone 7920 を監視するには、この IP 電話の Aironet アクセスポイントも Operations Manager で監視する必要があります。この電話については、論理情報のみが Cisco CallManager から表示されます。7920 のスイッチ情報は N/A または Not Available と表示されます。

Cisco CallManager 4.0 より前のリリースでは、7920 は 7960 と表示されます。そのため、Operations Manager でも、4.0 より前のリリースの Cisco CallManager では 7920 が 7960 と表示されます。



(注) IP Phone Audit レポートや Suspect Phone レポートなどの IP Phone Status Changes レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされていません。

電話がレポートに表示されない

レポートに特定の IP 電話の情報が含まれていない場合、その電話は次のいずれかである可能性があります。

- 模擬電話：模擬テスト用に設定された IP 電話 (模擬電話) は、IP Phones and Applications レポートに表示されません。
- IP Communicator：IP Communicator レポートを生成します。P.12-8 の「IP Communicators レポートの生成」を参照してください。
- CTI アプリケーション：これらの電話は All CTI Applications レポートに表示されます。P.12-8 の「All CTI Applications レポートの生成」を参照してください。

IP Phone Status Changes レポートの使用方法

IP Phone Status Changes レポートには、過去 1 ～ 7 日間にステータス変更のあった電話の情報が表示されます。

IP Phone Audit レポートには、このようなすべての変更の要約が示されます (P.12-18 の「IP Phone Audit レポートの使用方法」を参照してください)。その他の IP Phone Status Changes レポートでは、次の表に示すように、特定の変更タイプに焦点を絞っています。

電話のステータス変更	レポートに表示される詳細情報
接続 (異なるスイッチまたはスイッチポートへの接続)	IP Phone Move レポートの使用方法 (P.12-17)
重複した IP アドレスまたは MAC アドレス	Duplicate MAC/IP Address レポートの使用方法 (P.12-22)
内線番号の変更	Extension Number Changes レポートの使用方法 (P.12-20)
Cisco CallManager への登録 <ul style="list-style-type: none"> 異なる Cisco CallManager への登録 未登録 登録の試行と失敗 	IP Phone Move レポートの使用方法 (P.12-17) Suspect Phone レポートの使用方法 (P.12-21)
削除	Removed IP Phones レポートの使用方法 (P.12-19)

IP Phone Status Changes レポートの対象となる期間について

IP Phone Status Changes レポートを生成する場合は、次のそれぞれがどの時間帯に属しているかによってレポートの結果が影響を受ける場合があります。

- クライアント システム : Operations Manager は、クライアント システムの日付と時刻に基づいて、IP Phone Status Changes レポートの期間 (過去 24 時間～ 7 日間) を計算します。
- Operations Manager システム : Operations Manager は、内線番号の変更などのいくつかの監査情報を、Operations Manager システムでその変更が検出された時間に基づいて記録します。
- Cisco CallManager : Operations Manager は、IP 電話の移動などのいくつかの監査情報を、変更が検出されたときの Cisco CallManager での時間に基づいて記録します。

これらのシステムに 1 つでも同じ時間帯に属していないものがある場合は、IP Phone Status Changes レポートを生成および表示するときに、時間帯の差を考慮に入れる必要があります。



ヒント

Operations Manager システムでの監査日付および時刻が IP Phone Status Changes レポートに表示されるものと矛盾する場合は、ネットワーク内のすべての Cisco CallManager に同期化が設定されていることを確認してください。

Cisco CallManager がダウンしている場合の IP 電話のステータス変更のトラッキング

バックアップが設定されている Cisco CallManager がダウンした場合、IP 電話はバックアップ用の Cisco CallManager にフェールオーバーします。Operations Manager は、バックアップに登録した IP 電話の監査レコードを保存するため、これらのステータス変更は IP Phone Status Changes レポートに含まれます。

Operations Manager は、次の場合は監査レコードを保存しません。

- Cisco CallManager クラスタ全体がダウンしている場合
- バックアップが設定されていない Cisco CallManager がダウンした場合

したがって、このような状態の Cisco CallManager に登録された IP 電話のステータス変更は、IP Phone Status Changes レポートには含まれません。



(注)

Cisco CallManager がダウンしている間に影響を受けた電話は、次のようになります。

- **Phone Activities** モニタリング ダッシュボードに 24 時間以上表示されたままになります。P.5-5 の「電話のアラートに関する詳細の取得」を参照してください。
- **Service Impact** レポートに要約されます。このレポートには、登録が解除され、フェールオーバーされていない電話の詳細が示されます。Service Impact レポートは、Cisco CallManager がダウンし、そのイベントの影響が高い状態の間に、その Cisco CallManager の Alert Details から入手することができます。P.3-16 の「Service Impact レポートについて」を参照してください。

IP Phone Move レポートの使用法

IP Phone Move レポートには、移動された IP 電話が表示されます。また、レポートには移動の前後の詳細情報も含まれます。IP Phone Move レポートには、IP 電話の移動が発生した日時ではなく、移動が検出された日時が表示されます。

IP Phone Move レポートの情報は、IP Phone Movement Tracking により、5 分ごとに収集されます (P.12-23 の「IP Phone Movement Tracking について」を参照してください)。IP Phone Movement Tracking は、すべてのスイッチと Cisco CallManager をチェックし、変更のリストを確認して、IP 電話の移動に関するデータを生成します。



(注)

IP Phone Move レポートの新しいデータは、およそ 5 分に 1 回取得されます。データをリフレッシュするには、レポートを閉じて再生成します。

ステップ 1 Reports > IP Phone Status Changes > IP Phone Move を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間 (24 時間～7 日間) を選択して **View** をクリックします。IP Phone Move レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	IP 電話の内線番号。Extension カラムには、Old と New の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Old : 移動前の IP 電話の内線番号。 • New : 移動後の IP 電話の内線番号。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。
CCM Address	Cisco CallManager のアドレス。CCM Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Old : 移動前の IP 電話の CCM アドレス。 • New : 移動後の IP 電話の CCM アドレス。
Switch Address	IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。Switch Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Old : 移動前に IP 電話で使用されていたスイッチ アドレス。 • New : 移動後に IP 電話で使用されているスイッチ アドレス。
Switch Port	IP 電話が使用するスイッチ ポート。Switch Port カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Old : 移動前に IP 電話で使用されていたスイッチ ポート。 • New : 移動後に IP 電話で使用されているスイッチ ポート。
Time Stamp	Operations Manager が IP 電話の移動を検出した日付と時刻が反映されます。



ヒント

移動され、Cisco Discovery Protocol (CDP) を実行していない電話は、レポートに表示されません。たとえば、30VIP と 12SP+ は CDP を実行しないため、これらの移動のエントリは表示されません。

IP Phone Audit レポートの使用方法


IP Phone Audit レポートには、管理対象 IP 電話ネットワークで発生した変更が表示されます。たとえば、このレポートには、ネットワークで追加または削除された IP 電話や、IP 電話のステータス変更が表示されます。電話のステータス変更は、電話が Cisco CallManager から登録解除された場合などに発生します。

過去 7 日以内の変更内容を表示できます。監査情報はデータベースに 7 日間保持され、その後消去されます。

IP Phone Audit レポートの情報は、IP Phone Movement Tracking によって収集されます (P.12-23 の「IP Phone Movement Tracking について」を参照してください)。IP Phone Movement Tracking は 5 分に 1 回実行されるため、IP Phone Audit Detail レポートを実行すると、およそ 5 分に 1 回新しいデータを取得することができます。この間隔をユーザが設定することはできません。

ステップ 1 Reports > IP Phone Status Changes > IP Phone Audit を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間（24 時間～7 日間）を選択して **View** をクリックします。IP Phone Audit レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	IP 電話の内線番号。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。
CCM/CME Address	Cisco CallManager または Cisco CallManager Express のアドレス。
Switch Address	IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。
Switch Port	IP 電話が使用するスイッチ ポート。
Time	Cisco CallManager での監査の日時。  (注) Cisco CallManager と Operations Manager システムの間に時間帯の差が存在していても、監査の日付と時刻は Cisco CallManager から直接取得され、調整は行われません。
Audit Type	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • add : ネットワークに追加された電話。 • remove : ネットワークから削除された電話。 • unregistered : Cisco CallManager からの登録解除。 • registered : Cisco CallManager への登録。



(注) IP Phone Audit レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。


Removed IP Phones レポートの使用方法

Removed IP Phones レポートには、過去 1～7 日間に削除された電話が表示されます。Operations Manager は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します（P.12-23 の「[IP Phone Movement Tracking について](#)」を参照してください）。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを入手できます。

ステップ 1 Reports > IP Phone Status Changes > Removed IP Phones を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間（24 時間～7 日間）を選択して **View** をクリックします。新しいウィンドウに Removed IP Phones レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

■ IP Phone Status Changes レポートの使用方法

カラム	説明
Extension	IP 電話の内線番号。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。
CCM/CME Address	Cisco CallManager または Cisco CallManager Express のアドレス。
Switch Address	IP 電話が以前接続されていたスイッチの IP アドレス。
Switch Port	IP 電話が以前接続されていたスイッチ ポート。
Time	電話が Cisco CallManager から削除された日時。
	 <p>(注) Cisco CallManager と Operations Manager システムの間に時間帯の差が存在していても、削除の日付と時刻は Cisco CallManager から直接取得され、調整は行われません。</p>
Indication	Cisco CallManager での IP 電話の登録ステータスを示します。removed。



(注) Removed IP Phone レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

Extension Number Changes レポートの使用方法

Extension Number Changes レポートには、過去 1 ～ 7 日間に内線番号が変更された電話が表示されます。Operations Manager は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します (P.12-23 の「IP Phone Movement Tracking について」を参照してください)。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを入手できます。

ステップ 1 Reports > IP Phone Status Changes > Extension Number Changes を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間 (24 時間～ 7 日間) を選択して **View** をクリックします。新しいウィンドウに Extension Number Changes レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	IP 電話の内線番号。
IP Address	IP 電話の IP アドレス。
MAC Address	IP 電話の MAC アドレス。
CCM Address	Cisco CallManager のアドレス。
Switch Address	IP 電話が以前接続されていたスイッチの IP アドレス。
Switch Port	IP 電話が以前接続されていたスイッチ ポート。
Time	Operations Manager が内線番号の変更を確認した日時。



(注) Extension Number Changes レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

Suspect Phone レポートの使用法

Suspect Phone レポートには、ネットワーク内で次の状態にあるすべての IP 電話の属性が表示されます。

- Cisco CallManager に登録されていない。
- Cisco CallManager への登録を試行し、失敗した。

ステップ 1 Reports > IP Phone Status Changes > Suspect を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間 (24 時間～7 日間) を選択して **View** をクリックします。疑わしい IP 電話がある場合は、新しいウィンドウに Suspect Phone レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	疑わしい IP 電話の内線番号。
IP Address	疑わしい IP 電話の IP アドレス。
MAC Address	疑わしい IP 電話の MAC アドレス。
Switch Address	疑わしい IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。
Switch Port	疑わしい IP 電話が使用するスイッチ ポート。
Indication	Cisco CallManager での IP 電話の登録ステータスを示します。



ヒント

IP 電話の中には、実際にそうではない場合に Suspect とマークされるものがあります。これを修正するには、Cisco CallManager が Operations Manager によって管理されていることを確認します。Cisco CallManager のステータスは、Device Details レポートで確認できます。P.15-20 の「デバイスの詳細の表示」を参照してください。

- Cisco CallManager が Operations Manager によって管理されていない場合は、Operations Manager に追加します。
- Cisco CallManager が Operations Manager によって管理されていても到達不能である場合は、Operations Manager との接続が失われていることが原因である可能性があります。Operations Manager との接続を復元してください。



(注) Suspect Phone レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

Duplicate MAC/IP Address レポートの使用方法

Duplicate MAC/IP Address レポートには、ネットワーク内で次の状態にあるすべての IP 電話の attributes が表示されます。

- 重複した MAC アドレスを持つ（他の電話と MAC アドレスが同じで、IP アドレスが異なる電話）。
- 重複した IP アドレスを持つ（他の電話と IP アドレスが同じで、MAC アドレスが異なる電話）。

Operations Manager は、マルチホーム ホストを重複した MAC アドレスを持つ電話として表示しません。

ステップ 1 **Reports > IP Phone Status Changes > Duplicate MAC/IP Address** を選択します。IP Phone Status Reports ページが表示されます。

ステップ 2 リストから期間（24 時間～7 日間）を選択して **View** をクリックします。Duplicate MAC/IP Address IP Phone レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

カラム	説明
Extension	重複のある IP 電話の内線番号。
IP Address	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • 共通の MAC アドレスが問題である場合は、重複のある IP 電話の IP アドレス。 • 共通の IP アドレスが問題である場合は、その IP アドレス。
MAC Address	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • 共通の IP アドレスが問題である場合は、重複のある IP 電話の MAC アドレス。 • 共通の MAC アドレスが問題である場合は、その MAC アドレス。
Switch Address	重複のある IP 電話が接続されているスイッチの IP アドレス。
Switch Port	重複のある IP 電話が使用するスイッチ ポート。
Indication	Cisco CallManager での IP 電話の登録ステータスを示します。duplicate ip。

IP Phone Status Changes レポートのエクスポート

Operations Manager で 24 時間に 1 回 IP Phone Status Changes レポートを生成し、Operations Manager システムにカンマ区切り形式（CSV）および PDF 形式で保存するには、次の手順を実行します。レポート ファイルには、作成日付と時刻を使用して名前が付けられます。ファイル名の形式は、次のとおりです。

typeofreport_date_time.filetype



(注) Operations Manager は、これらのレポート ファイルを自動的に消去しません。これらは手動で削除する必要があります。

ステップ 1 **Reports > IP Phone Status Changes > Export** を選択します。Automatically Export 24-Hour IP Phone Status Reports ページが表示され、次の表の情報が示されます。

GUI 要素	説明 / 処理
Reports ペイン	毎晩生成および保存する IP Phone Status Changes レポートごとに、次の 1 つ以上をオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> • CSV チェックボックス：レポートを CSV 形式で保存します。 • PDF チェックボックス：レポートを PDF 形式で保存します。
Generate ペイン	<ul style="list-style-type: none"> • Save at：Operations Manager サーバ上のレポートのデフォルトの保存場所が表示されます。サーバ上の別の場所を入力することができます。 • E-mail to：(オプション) 完全な電子メールアドレスを入力します。

ステップ 2 **Apply** をクリックします。

IP Phone Movement Tracking について

Operations Manager は、次のタイプの IP 電話の移動を確認するために、5 分ごとにスイッチと Cisco CallManagers から情報を収集します。

- Intercluster：以前にある Cisco CallManager クラスタに登録されていた電話が、現在は別のクラスタに登録されている。
- Physical：あるスイッチポートに物理的に接続されていた電話が、現在別のスイッチポートに物理的に接続されている。

Operations Manager は、Cisco Discovery Protocol (CDP) を実行する電話に関してのみこのような情報を収集します。たとえば、Cisco IP Phone のモデル 7902、7905、7910、7912、7920、7935、7936、7940、7941、7960、7970、7985 などです。Operations Manager は、この情報を 7 日間保存し、その後データベースから消去します (日次パーキング スケジュールについては、[P.19-12 の「System Preferences を使用したシステム全体のパラメータの設定」](#)を参照してください)。

IP Phone Movement Tracking が実行されるたびに、IP Phone Audit、IP Phone Move、Removed IP Phones の各レポートで新しい情報の入手が可能になります。

